



健全な法治国家のために
声をあげる市民の会

毎日新聞社御中

2012年1月13日

健全な法治国家のために声をあげる市民の会

健全な法治国家のために声をあげる市民の会は、本日付毎日新聞に、事実と異なる記事が掲載されましたことに対しまして、抗議と謝罪記事の掲載を申し入れます。

昨日の告発に関する毎日新聞記事を拝見いたしました。

告発状では、「勾留中のやり取りなどと記憶が混同した」との田代検事の説明は「あり得ない」と言っているのに、あたかも、田代検事の混同がごく自然にあり得たように誤解させる内容で、明らかな誤報です。

告発状で引用された出版物（「実録 政治vs.特捜検察（文春新書） 塩野谷晶著」113頁）で、石川氏が述べている取調べは、

○田代検事ではなく副部長との取調べ

○虚偽報告書では「小沢氏への報告」に関する取調べとされてるが、著書で言っているのは、水谷からの5000万円裏献金に関する取調べ

○虚偽報告書では、「11万人以上の有権者に選ばれた国会議員が、やくざの手下が親分を守るよううそをついてはいけない」という検事の言葉が効いて「堪えきれなくなって、小沢に報告し、了承を得た」と供述したことになっているが、塩野谷氏とのインタビューで石川氏が明確に述べているのは、検事の言葉が「なんで信じてくれないとショックを受けた」「土下座して『5000万円』は断じてもらっていません。もう勘弁してくださいと言った」というもので、取調べ検事に対してとった態度は全く逆である

常識的に考えて、人間が「一日前の自分の取調べの記憶」と「数ヶ月前に他人がやった違う容疑での取調べの内容」を混同し、さらに、その結論を全く逆に認識することはあり得ず、だからこそ、当会の告発状において、「あり得ない」と断じているものです。

また、貴紙があえて引用されている石川議員の「獄中日記」とは、正確には、佐藤勝氏と魚住明氏の対談である「誰が日本を支配するのか!? 検察と正義」の中に、単



健全な法治国家のために
声をあげる市民の会

に、「十勝の有権者は小沢一郎ではなく、石川知裕に期待して投票したと言われるのがつらい」と書いてあるだけの記述でしかありません。

いずれにしましても、この記事の石川氏の獄中日記の中で書かれた拘留中のやりとりと、任意の取り調べ内容が大幅に一致するような記述は、明らかに読者に田代検事の「記憶の混同」がごく自然にあり得たように誤解させ、告発状の方が誤っているような印象を与えるものであり、ただちに訂正記事を出すことを求めます。

代表：八木啓代（やぎ・のぶよ）

ホームページ：<http://shiminnokai.net/>

<送信書類>

-
- ・ 本抗議文（2ページ）
-

以上

《本発表に関するお問い合わせ》

健全な法治国家のために声をあげる市民の会 広報担当：加藤、京谷

E-mail：shiminnokai21@gmail.com FAX：03-4333-0442

URL：<http://shiminnokai.net/>

誰が日本を支配するのかわかるのか!?

検察と正義

佐藤優十 魚住昭 責任編集

誰が日本を支配するのかわかるのか!? 検察と正義



2012年 1月13日 10時12分



魚住 昭

検察は崩壊？
国家の正義は？
日本はどこへ!?

小沢一郎捜査、村木事件、政治資金問題……日本の未来に正義はあるのか？



佐藤 優十

佐藤優十 魚住昭 責任編集

マガジハウス 定価：本体1333円 (税別)

- I. 検察官の責任と正義の追求
 - II. 石川知裕「検察官の責任と正義の追求」
 - III. 石川知裕×魚住 昭「小沢一郎氏への思い」
 - IV. 宮崎 学×雨宮処凛「何でも自己責任で人の人生を振り回すな！」
- 付録「小沢一郎年表」

1月25日

このところの取り調べは、小沢一郎からの呪縛から逃れるべきだという田代検事の説得が一番きつい。自分の人生のうちの大半を小沢一郎とともに過ごしてきた。自分が小沢一郎と縁を絶つというのは、自分の半生を否定するのに等しい。私は小沢一郎に気に入られているとは、決して思っていないし、これからもそうだろう。小沢先生は、非情な人だということもよくわかつていたので、小沢一郎に切られたとか捨てられたとか言われても何も思わない。ただし、十勝の有権者は小沢一郎ではなく、石川知裕に期待して投票したと言われるのがつらい。検事も痛いところをついてくるものだ。佐藤優さんからのFAXで田代さんの人間性にひきこまれるなというメッセージを安田先生から見せられたが、その通りだと感じる。

木下先生との接見でも検事はプロだから心してかかれと言われる。安田先生から毎日新聞に掲載されていた父親のコメントを読む。親のところへもマスコミが行って、大変だろうと心配した。

10:40 ~ 11:20
15:00 ~ 16:00

19:00 ~ 23:30

夜の取り調べはきつかった。

水谷建設での再逮捕もほのめかされる。

特捜部長と副部長が来たそうだ。正念場だ。

1月26日

朝食は、麦飯にサンマの佃煮。いつものパターンである。昨日の夜は、取り調べから戻った後にエビせんを一袋食べてしまったので、胃が重く、はじめてごはんの味を汁を残してしまった。もちろん疲れもあるかもしれない。

昨日、ベンジャミン・ヤンの小平政治的伝記の差し入れがあった。想像していた本と違うが、仕方ない。鄧小平の不屈の精神を学ぼうとおもう。

Uが呼ばれたと高木弁護士から告げられた。彼女に申し訳ない。急に疲れが出てきた。いったいどこまでやれば気がすむのだろう。

今日もまた大量の差し入れが届いた。

昼は弁当であったが、中華だった。